

お帰りなさい

4月20日、宇宙から無事地球に帰還した宇宙飛行士の山崎直子さん

お茶高生の先輩である彼女にさまざまな面から迫る

春休みも残りあとわずかとなつた四月五日の午後五時半、合併室に多くの人が集つた。顔ぶれは在校生から卒業生、保護者の方や退官された先生までさまざまである。しかし、目的はただひとつ。本校卒業生の山崎直子宇宙飛行士の無事の出発を応援することである。

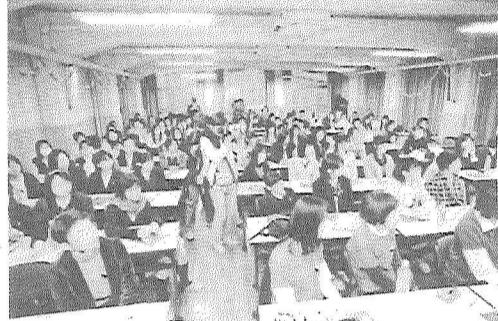
約一時間後の打ち上げを前に、合併室いっぱいに高揚した熱気が漂つていた。

合併室がいっぱいになり、集合時間を過ぎたところで、今回の会企画運営した物理科の村井利行先生が挨拶、続いて浜谷

校長が挨拶された。山崎さんは化学を教えるのは非常に楽しかった。彼女が言つた『お茶高で学んだことは頑張ることは泥臭いことではなくて楽しいことだ』という言葉が胸に残つてい

る」と話された。

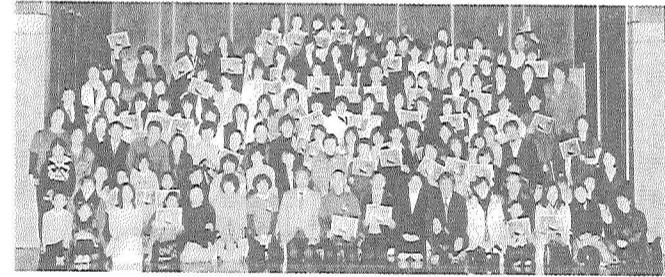
続いて今日のために集まつた山崎さんを教えた先生方が紹介され、山崎さんの同級生の方々も挨拶された。遠くは京都、徳島から駆けつけてこられた同級生の方もいらした。



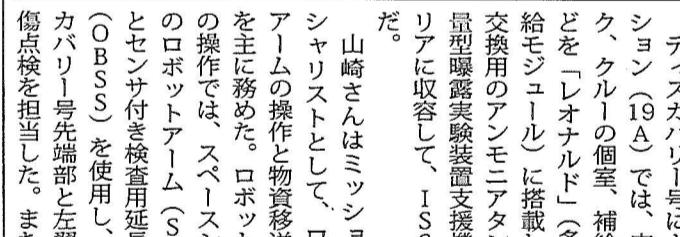
合併室での応援会



挨拶をする杉田さん



体育馆にて記念撮影



打ち上げの応援会で
JAXAから配布された
山崎さんの家に
モとピンバッヂ

日本時間四月五日午後七時二分、山崎さんが搭乗するディスカバリー号は米国フロリダ州のNASAケネディ宇宙センター（KSC）から打ち上げられた。野口宇宙飛行士ら六名の待つ国際宇宙ステーション（ISS）に、七日午後四時四四分にドッキングし、一五日間の飛行後、二十日午後十時八分にKSCに帰還した。

ディスカバリー号によるミッション（19A）では、実験ラック、クルーの個室、補給物資などを「レオナルド」（多目的補給モジュール）に搭載し、また、交換用のアンモニアタンクを軽量型曝露実験装置支援機材キヤリアに収容して、ISSに運んだ。

山崎さんはミッションスペシャリストとして、ロボットアームの操作と物資移送責任者

を主に務めた。ロボットアーム

の操作では、スペースシャトル

のロボットアーム（SRMS）

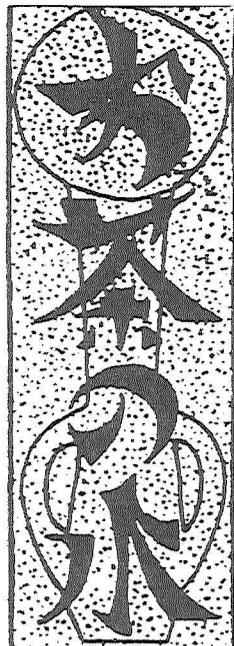
とセンサ付き検査用延長ブーム

（OBSS）を使用し、ディスカバリー号先端部と左翼部の損傷点検を担当した。また、レオ

ビ（真菌）の変化を調べること



山崎(角野)直子さん(1989年3月卒業)
(提供:NASA)



先輩!!

同級生で

A (宇宙航

空研究開発

機構)の職

員である杉

田尚子さん

は、「山崎

さんを応援

すると共に

自分の将来

も彼女のよ

うに切り開

いていつ

ほしい」と

話された。

山崎さんはロボットアームの操

作経験があり、物資の輸送に関する経験の蓄積をかわされてスペースシャトル搭乗となつたそうだ。

また、山崎さんの宇宙での一日のスケジュールとその仕事内容の説明を受けたが、十二日間に及ぶ任務のスケジュールはまさに分割みであつた。

打ち上げまであと一時間に迫つたころ、山崎さんの同級生の方々のインタビューが始まつた。皆で山崎さんの歩みを紹介。「山崎さんはどこにいるでしょう?」山崎さんのお茶高に入学した時のクラス写真が映し出され、山崎さんを見つけると、会場は「今と変わらないね」などの声が聞こえ、盛り上がりがつた。

その後杉田さんから山崎さんの今回のミッションについて説明を聞いた。「今回の出張先はISS

で山崎さんの歩みを紹介。「山崎さんはどこにいるでしょう?」山崎さんのお茶高に入学した時のクラス写真が映し出され、山崎さんを見つけると、会場は「今と変わらないね」などの声が聞こえ、盛り上がりがつた。

その後杉田さんから山崎さんの

今回のミッションについて説明を

聞いた。「今回の出張先はISS

で山崎さんの歩みを紹介。「山崎さんはどこにいるでしょう?」山崎さんのお茶高に入学した時のクラス写真が映し出され、山崎さんを見つけると、会場は「今と変わらないね」などの声が聞こえ、盛り上がりがつた。

その後杉田さんから山崎さんの

今回のミッションについて説明を

三年間山崎直子さんの担任だった小田川恭子先生（英語）に、インタビューザせて頂いた。

Q どんな生徒でしたか。
A 色白で大和撫子の典型的のような子でした。背が高く、いつもニコニコしていて、一生懸命な生徒でしたね。コツコツ型で、勉強も何も言わなくとも一人でやるタイプでした。

Q 山崎さんが宇宙に行くと聞いて、どう思いましたか？
A ただ無事に帰ってきてくれればそれでいいという気持ちでいっぱいでした。母親のような気持ちでした。

Q 先生はNASAのパーティに招待されましたか、どんな気持ちでしたか。
A 嬉しいけれど、彼女は自分が

Q このような経緯でNASAに行くことになったのですか？
A 山崎さんが母校の先生を招待したので、その同行者として行けるというお話が先生方にあり、私は中学生の時から宇宙に関心があつたので、ぜひ行きたいと希望しました。本当は他の先生も行く予定だったのですが、日程が変更になってしまった影響で、学校関係者でNASAを行ったのは私と小田川先生だけです。

Q 行くことになった時の気持ちはどうでしたか？
A 打ち上げは前から見に行こうと思っていたので、嬉しかつたです。

Q NASAに実際行ってみて、元々抱いていたイメージとのギャップはありましたか？
A ギャップは無かったです。NASAは宇宙が好きな人にとっては憧れの場所で、楽しかつたです。月の石が展示されていて気軽に触れたり、誰でも楽しめようになっていました。皆さん

▲ 色白で大和撫子の典型的のような子でした。背が高く、いつもニコニコしていて、一生懸命な生徒でしたね。コツコツ型で、勉強も何も言わなくても一人でやるタイプでした。

▲ 山崎さんが宇宙に行くと聞いて、どう思いましたか。

▲ ただ無事に帰ってきてくれればそれでいいという気持ちでいっぱいでした。母親のような気持ちでした。

Q 先生はNASAのパーティに招待されましたか、どんな気持ちでしたか。

▲ 嬉しいけれど、彼女は自分

Q 高校時代の山崎さんと、今の山崎さんは変わったと思いますか。

A 彼女は隔離状態だったのでパーティには参加できず、会うことが出来ませんでしたが、ご主人と娘さんは会いました。本人からはVTRが届いていました。

Q 何でもこなしてしまう人の「何もしていない」という気持ちのほうが大きく、いいのかなと思つていました。しかし、会場で会つた生徒さんの一人から、山崎さんの本に私のことが載つていると聞いて帰国してから読んでみると、毎年卒業の時に教えていた「お祈りの言葉」に彼女が元気をもらつたと書いてあつたので、「少しほは役に立てたのかな」と思い、嬉しかつたですね。

山崎さんご両親と
内先生、小田川先
生

Q 最後に山崎さんに向けて、
メッセージをお願いします。

A 今回の打ち上げは、山崎さん
個人だけでなく、色々な人の夢を
宇宙に持って行つて行くと思います。
私たちに夢を与えてくれていい
ということにすごく感謝したい

Q 山崎さんにに対するイメージは
どのようなものですか?

A 山崎さんを直接知っている人
から聞いたイメージですが、おとな
しくて、大和撫子というイメー
ジを持っています。また、宇宙飛
行士認定までの訓練の過酷さをあ
らためて知り、本当に意志が強い
方なんだ、と思いました。

Q 最後に山崎さんに向けて、
メッセージをお願いします。

A 打ち上げの瞬間はどうでしたか。

Q 打ち上げは良く晴れた日の早
朝でした。打ち上げる少し前に、
NASAの演出なのか、ISS
(国際宇宙ステーション)が空を通
り過ぎていくのを見ることが出来
て、とても綺麗でした。打ち上げ
の直前にはアメリカの国歌がかか
り、大きな歓声があがっていました
が、その後は徐々に静まり、空
に消えていくスペースシャトルを
皆じつと見つめしていました。雲が
とても綺麗だつたです。打ち上げ
の後は、NASAを見て回りまし
た。宇宙に関するいろいろな展示
がしてあって面白かったです。

Q 最後に、無事任務を終えた山
崎さんにどうぞ。

A 本当にご苦労さま、よくな
さった、と言いたいですね。

Q 上げ三分前になつており、落ち着
いて何分も待つて打ち上げ、とい
う訳ではなかつたのですが、それ
でもパツッと頭が切り替わり、と
にかく夜空に上がつていくスペー
スシャトルが綺麗でした。山崎さ
んのシャトルの中での姿と今まで
の努力が頭に浮かび、応援の気持
ちで一杯でした。

Q 山崎さんに対するイメージは
どのようなものですか?

A 山崎さんを直接知っている人
から聞いたイメージですが、おとな
しくて、大和撫子というイメー
ジを持っています。また、宇宙飛
行士認定までの訓練の過酷さをあ
らためて知り、本当に意志が強い
方なんだ、と思いました。

わつたことは変わつたのでしょうか
が、自分のやりたいことのため
には努力を惜しまず、必ず成し遂
げてみせるといった芯の辺りは変
わつていない思いますね。

Q 打ち上げの瞬間はどうでしたか。

A 打ち上げは良く晴れた日の早
朝でした。打ち上げる少し前に、
NASAの演出なのか、ISS
(国際宇宙ステーション)が空を通
り過ぎていくのを見ることが出来
て、とても綺麗でした。打ち上げ
の直前にはアメリカの国歌がかか
り、大きな歓声があがつていまし
たが、その後は徐々に静まり、空
に消えていくスペースシャトルを
皆じつと見つめていました。雲が
とても綺麗だつたです。打ち上げ
の後は、NASAを見て回りまし
た。宇宙に関するいろいろな展示
がしてあって面白かったです。

Q 最後に、無事任務を終えた山
崎さんにどうぞ。

A 本当にご苦労さま、よくな
さった、と言いたいですね。

Q 山崎さんにに対するイメージは
どのようなものですか?

A 山崎さんを直接知っている人
から聞いたイメージですが、おと
なしくて、大和撫子というイメー
ジを持っています。また、宇宙飛
行士認定までの訓練の過酷さをあ
らためて知り、本当に意志が強い
方なんだ、と思いました。

Q 最後に山崎さんに向けて、
メッセージをお願いします。

A 今回の打ち上げは、山崎さん
個人だけでなく、色々な人の夢を
宇宙に持って行つて行つていいと思いま
す。私たちに夢を与えてくれていい
ということにすごく感謝したい

村井先生インタビュー

応援会を企画、運営した村井利行先生（物理）お話を伺った。

Qなぜ応援会を開催しようと思ったのですか。

A打ち上げはもちろん山崎さん自身にとつても一大事であるけど、それと同時に他の人にとも一大事だよね。NASAにとつてスペースシャトルの打ち上げは一千億円もかかる一大事業だ。それにお茶高の卒業生である山崎さん深くかかわっているのだから、何か応援しただけ思つたんだよ。たかが授業でかかわつただけと言われてしまつたらそれまでだけど、僕として授業で教えたといつのは大切なつながりだから、日本米ライブフォーラムにも声をかけられて力をして進めていくことになつたんだ。

Q何か大変なことやハプニングはありますか。

A特に大変つたことはないかな。不安なことがあつたな。春休み中のイベントだし、山崎さん打ち上げで学校中が打ち上げで盛り上がりっていう雰囲気もなかつたから、応援会に生徒たちが来てくれないのではないか、ということが不安だつた。

Q具体的にはどのようなことをやりましたか。

Aまず、生徒の中で中核となつて動いてくれた人を探したよ。声をかけやすくてぱつと動いられる人ということで、大自然科学部や、昨年三年生の物理選択者に声をかけた。そして僕が問題になつて、十一月ぐらいから行動を始めた。あとはホームページの作成。十年前の山崎さんと同級生との対談を杉田さんが持つていて、それをもつて僕が編集して公開したよ。あとは米ライブフォーラムに頼まれて作つた四十分钟の応援ビデオから、十数秒だけ抜き出してたりもしたね。

・・・・・

大自然科学部川島

大自然科学部の前部長で今回の応援団
川島里佳子さんに、インタビューした。

Q下準備で、注意したことはありますか。

A集まつた皆が盛り上がって応援できたらなと思いました。

Q山崎さんが乗つていたスペースシャトルち上げが成功した時、どんな気持ちでしたか。

Aとにかくスペースシャトルの迫力に圧倒されました。同じこの学校で勉強していた方が宇宙を行つたというのはとても不思議な気持ちでした。このような先輩がいらっしゃることをどう思いますか。

A後輩でいられてとてもうれしいです。私は山崎さんほど立派な方には到底なれない大好きで、今できることを精一杯頑張らなければいけないといました。

Q下準備の時の気持ちは。

大自然科学部川島さんインタビュー

大自然科学部の前部長で今回の応援団長の川島里佳子さんに、インタビューした。

△今まで大きな活動をした
然科学が応援会を中心となつ
たうえで思ひました。

んインタビューア

だから、お疲れ様でした。喜がたなくてよかつたね、という言葉をかけてあげたいな。

▲ 山崎さんは、大変なことでも大変だって愚痴をこぼさず、飘々としてこなしていく人だったん

たりしたことも嬉しかつたよ。本当に、参加してくれた人皆に感謝の気持ちでいっぱいだよ。

か二たことが救いたつたよ。
それと、大自然科学部が即興で応援をやつてくれ
て、その代價をうなぎの巻きで支払つた。

ていいなどといふことを実感できただといふことは、甚井してほしいな。まあ、打ち上げの瞬間が見られなかつたと、「うーん」と皆のテンションが下がるな

あの時は本当にしまった、と思つたよ。四万人以上のアクセスがあつたそうで、たくさん的人が見

にも電話で質問したけど、野口さんの時にそのようなことは起きなかつたので大丈夫でしようと樂

た
も主催者としては打ち上げの瞬間に画像が直まってしまつたのがショックだつたな。その危険性は
うつ想つていて、次第に、之へる、

Q り
生徒たちに不満を語り、言及したりました。
応援会を終えての感想をお願いします。
たくさん的人が来てくれて嬉しかったよ。で

長先生など、たくさん的人が来てくださつて嬉しかつたな。報道陣も十社ぐらい来ることになつたか

一
どで宣伝した。山崎さんを聞きに電話してきた新聞社にも、応援会のことを宣伝したよ。

あとは大学全体の人が集まる会や、謝恩会の先
三月の鳥山、三月の山、二月の山

た。金額高いや時間長いを嫌いいたな」と思いつつもインターネットで調べてみたら、安いものを見つけ、事情を話したの本番に間に合わせてくれ

あと、応援会当日にかかつて山崎さん応援の垂幕は、一週間前に作ろうと僕が思い立つたん

お茶高で販売したTシャツは、JAXAの有志が企画したものだったそうで、これも杉田さんが